

第37回自然災害科学総合シンポジウム	2000年12月2日	自然災害総合研究班 (共催)京都大学防災研究所	大宮市民ホール (大宮ソニックシティ・ビル内)	「天気」47巻4月号
第3回東京湾海洋環境シンポジウム	2000年12月8日	東京湾海洋環境シンポジウム実行委員会 (共催)日本気象学会	東京都品川区 船の科学館	
第50回理論応用力学講演会	2001年1月23日 ～25日	日本学術会議メカニクス 構造研究連絡委員会 (共催)日本気象学会	日本学術会議講堂 (東京都港区六本木)	
極気候変動に関する第2回和達国際会議	2001年3月7日 ～9日	第2回和達国際会議実行委員会	つくば国際会議場 (エポカルつくば) (茨城県つくば市竹園2-20-3)	「天気」47巻5月号



助手（北海道大学低温科学研究所寒冷海洋圏部門）の公募

1. 公募人員：助手1名
2. 所属：低温科学研究所寒冷海洋圏部門
3. 研究内容：大気中の有機化合物の起源および変質過程を化学的手法（観測および実験）により研究する方を希望します。当研究所は寒冷圏および低温条件下における科学現象の基礎と応用の研究を目的とする全国共同利用の研究所であり、その中で当該部門は寒冷海洋域が地球全体の気候システムにおいて果たしている役割の研究を中心課題としています。当研究所の化学関係のスタッフとしては、海洋環境グループに河村公隆（教授）及び中塚武（助教授）が在籍しています。詳細は低温科学研究所のホームページの組織、研究者一覧を参照して下さい（<http://www.lowtem.hokudai.ac.jp/home.html>）。着任後は、大学院地球環境科学研究所・大気海洋圏環境科学専攻の研究指導（補助）を担当していただく予定です。
4. 応募資格：博士の学位を有する者又はそれに準ずる能力があると認められる者
5. 着任時期：決定後なるべく早い時期
6. 提出書類：
 - (1) 履歴書（連絡先、大学入学以降の学歴、研究・教育歴、学位、受賞歴など）
 - (2) 主な研究歴
 - (3) 研究業績リスト
 - (4) 主要論文別刷り5編以内（研究業績リストに○印）
 - (5) これまでの研究概要（2000字程度）
 - (6) これからの研究展望（2000字程度）
 - (7) 応募者についての意見を聞ける人2名の氏名と連絡先
6. 公募締切：平成12年10月2日（月）必着
7. 書類提出先：

〒060-0819 札幌市北区北19条西8丁目
北海道大学低温科学研究所長 本堂武夫
8. 問い合わせ先：

北海道大学低温科学研究所教授 河村公隆
TEL 011-706-5457, FAX 011-706-7142
9. その他：封筒の表に「寒冷海洋圏科学部門助手応募書類」と朱書きし、書留でお送り下さい。